

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

那珂市教育委員会

全国学力・学習状況調査とは

○ 調査の目的

- 児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 義務教育の機会均等とその水準の継続向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を分析・把握し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○ 調査の対象とする児童生徒

【小学校調査】 小学校第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年

○ 教科に関する調査

- 国語、算数・数学、英語 ※英語については3年に1度程度の実施

○ 調査事項

- 国語、算数・数学、英語について

- ・昨年度までは、「知識」に関するA問題と、「活用」に関するB問題に分かれていたが、今年度より「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施。
- ・今年度、初めて英語の調査を実施。

- 質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を調査。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について<教科に関する現状>

小学校国語の成果と課題

【成果】

- 図表やグラフなどを用いた目的を捉える。
- 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える。
- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。
- ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。

【課題】

- △ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

小学校算数の成果と課題

【成果】

- 台形について理解している。
- 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる。
- 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。
- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。
- 場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる。

【課題】

- △ 2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について<教科に関する現状>

中学校国語の成果と課題

【成果】

- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。
- 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。
- 話合いの話題や方向を捉える。
- 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する。
- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く。
- 語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する。

【課題】

- △ 封筒の書き方を理解して書く。

中学校数学の成果と課題

【成果】

- 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。
- 平行移動の意味を理解している。
- 簡単な場合について、確率を求めることができる。
- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。
- 反例の意味を理解している。
- 総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる。

【課題】

- △ グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について<教科に関する現状>

中学校英語の成果と課題

【成果】

- 語と語の連結による音変化を捉えて、情報を正確に聞き取ることができる。
- 教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる。
- まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる。
- 日常的な話題について簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。
- 日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。

【課題】

- △ 聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。
- △ 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えることができる。
- ※ 「話すこと」については、全体的に課題が見られる。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について<小学校:教科に関する現状>

○ 各分野ごとの問題の領域

→ 各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

【国語】

- ・「話すこと・聞くこと」 ・「書くこと」
- ・「読むこと」
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

【算数】

- ・「数と計算」 ・「量と測定」 ・「図形」
- ・「数量関係」

○ 問題形式

→ 選択式、短答式、記述式の3種類が出題されている。

各領域及び問題形式の主な成果と課題

【各領域の主な成果と課題】

- 国語の「話すこと・聞くこと」及び「読むこと」の領域で成果が見られる。
- 算数の「図形」の領域で成果が見られる。また、「数量関係」の領域は、全国と比較して成果が見られる。
- △ 国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で課題が見られる。
- △ 算数の「量と測定」の領域で課題が見られる。

【問題形式の主な成果と課題】

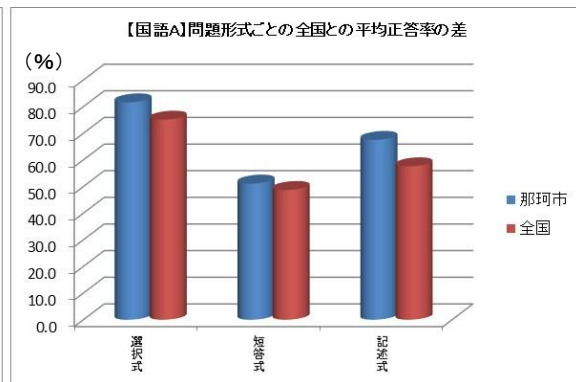
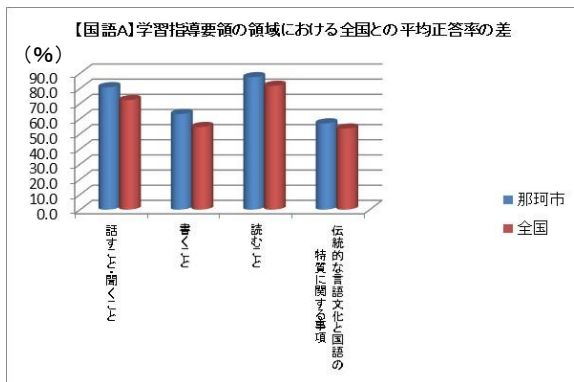
- 国語の「選択式」「記述式」の問題形式で成果が見られる。
- 算数の「選択式」「短答式」の問題形式で成果が見られる。
- △ 国語の「短答式」の問題形式で課題が見られる。
- △ 算数の「記述式」の問題形式で課題が見られる。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について<小学校:教科に関する現状>

小学校

国語

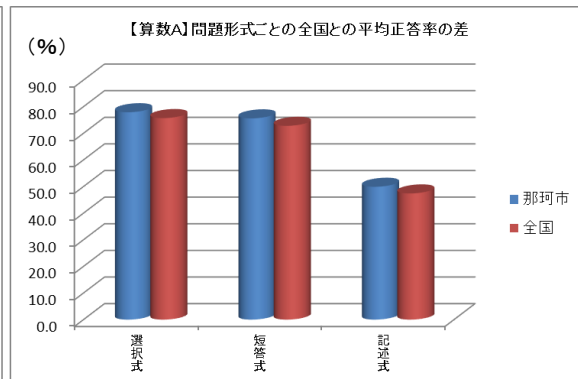
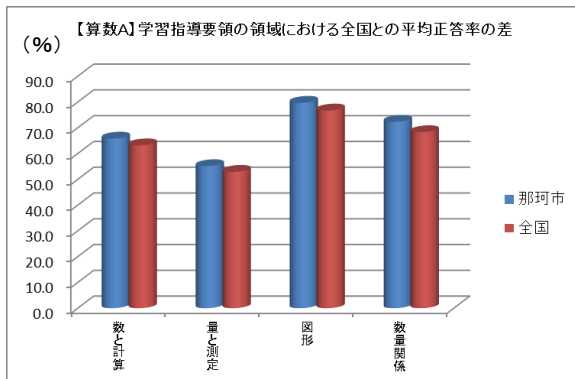
(設問数14問)



小学校

算数

(設問数14問)



【参考】

実際の問題は、国立教育政策研究所

<http://www.nier.go.jp/19chousa/19chousa.htm>をご覧ください。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈中学校:教科に関する現状〉

○ 各分野ごとの問題の領域

→ 各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

【国語】

- ・ 「話すこと・聞くこと」 ・ 「書くこと」
- ・ 「読むこと」
- ・ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

【算数】

- ・ 「数と式」 ・ 「図形」 ・ 「関数」
- ・ 「資料の活用」

【英語】

- ・ 「聞くこと」 ・ 「話すこと」 ・ 「読むこと」
- ・ 「書くこと」

○ 問題形式

→ 選択式、短答式、記述式の3種類が出題されている。

各領域及び問題形式の主な成果と課題

【各領域の主な成果と課題】

- 国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域で成果が見られる。
- 数学の「図形」の領域に成果が見られる。
- 英語の「聞くこと」の領域は、全国と比較して成果が見られる。
- △ 国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全国と比較して課題が見られる。
- △ 数学の「関数」の領域に課題が見られる。
- △ 英語の「話すこと」「書くこと」の領域に課題が見られる。

【問題形式の主な成果と課題】

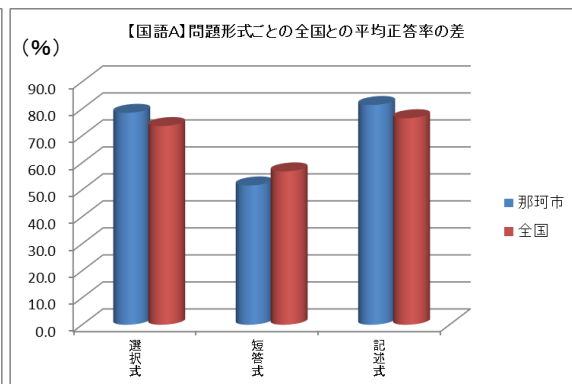
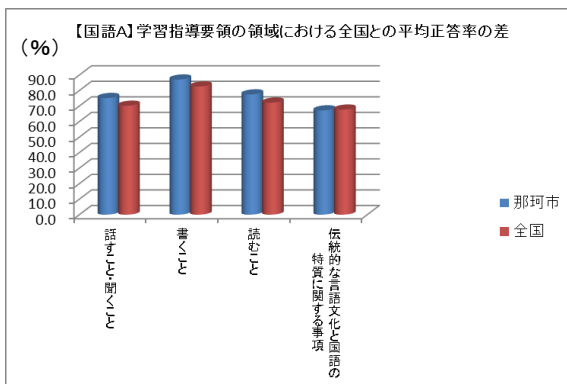
- 国語の「選択式」「記述式」の問題形式で成果が見られる。
- 数学の「短答式」の問題形式で成果が見られる。
- 英語の「選択式」の問題形式で成果が見られる。
- △ 国語の「短答式」の問題形式で課題が見られる。
- △ 数学の「記述式」の問題形式で課題が見られる。
- △ 英語の「短答式」の問題形式で課題が見られる。また、「記述式」の問題形式で大きな課題が見られる。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校:教科に関する現状＞

中学校

国語

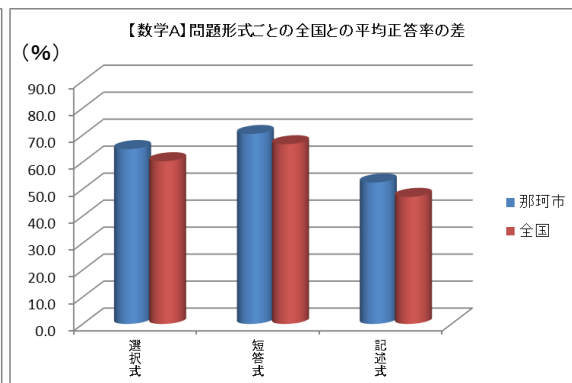
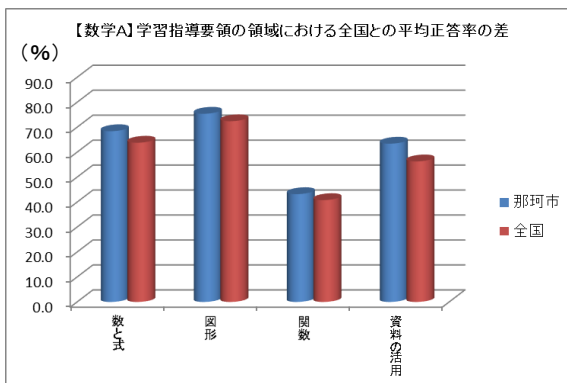
(設問数10問)



中学校

数学

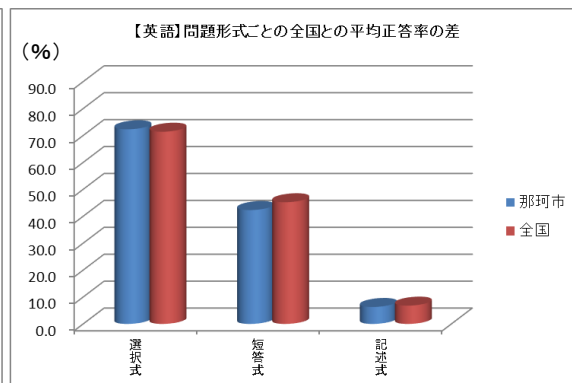
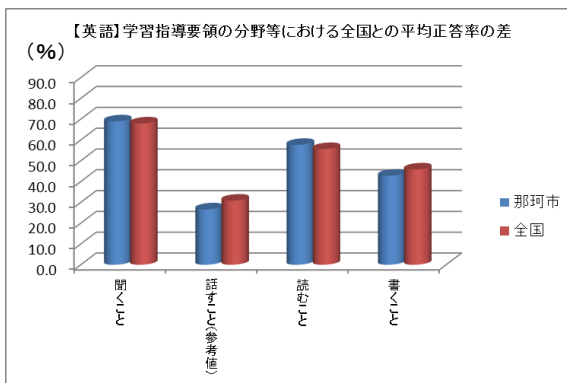
(設問数16問)



中学校

英語

(設問数21問)



【参考】

実際の問題は、国立教育政策研究所

<https://www.nier.go.jp/19chousa/19chousa.htm>をご覧ください。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年443人、中学3年463人】>

◇基本的な生活習慣における全国との比較(参考:茨城県)

※「している」「どちらかといえば、している」の割合(%)で比較。

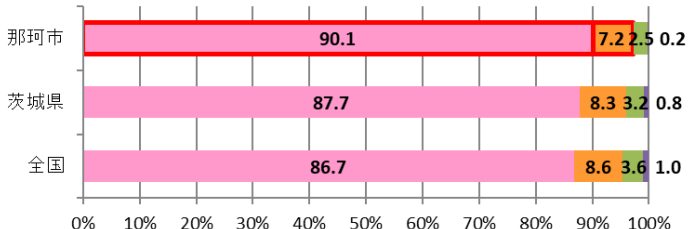
小学校

中学校

◇「朝食を毎日食べていますか。」については、全国と比較すると、小学校も中学校もやや高い傾向が見られる。

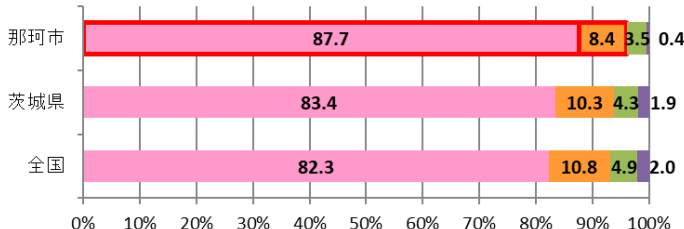
Q: 朝食を毎日食べていますか。

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 朝食を毎日食べていますか。

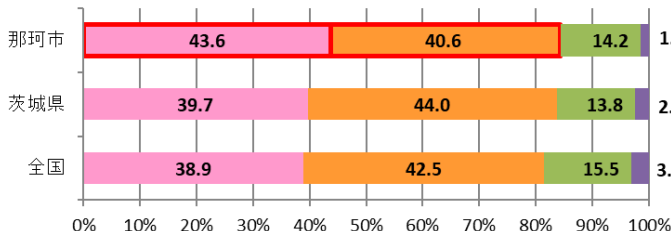
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」については、全国と比較すると、小学校はやや高い傾向、中学校は高い傾向が見られる。

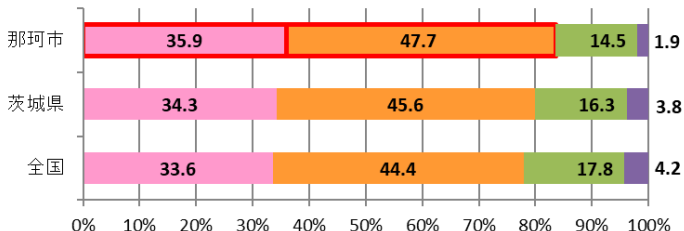
Q: 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

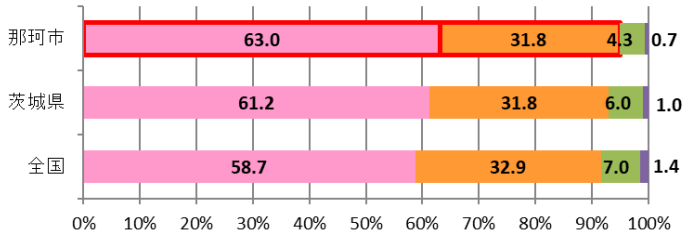
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」については、全国と比較すると、小学校も中学校も高い傾向が見られる。

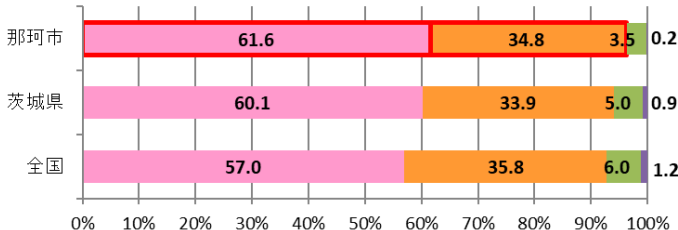
Q: 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年443人、中学3年463人】>

◇自尊感情における全国との比較(参考:茨城県)

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合(%)で比較。

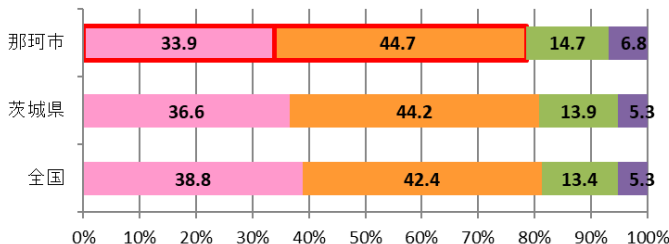
小学校

中学校

◇「自分には、よいところがあると思いますか。」については、全国と比較すると、小学校はやや低い傾向、中学校はやや高い傾向が見られる。

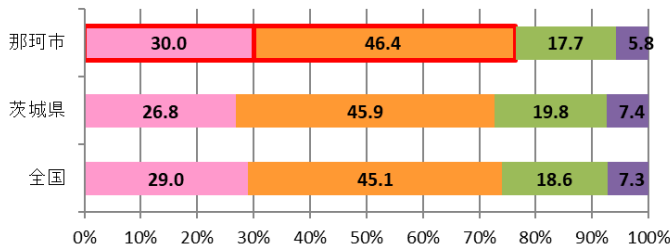
Q: 自分には、よいところがあると思いますか。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



Q: 自分には、よいところがあると思いますか。

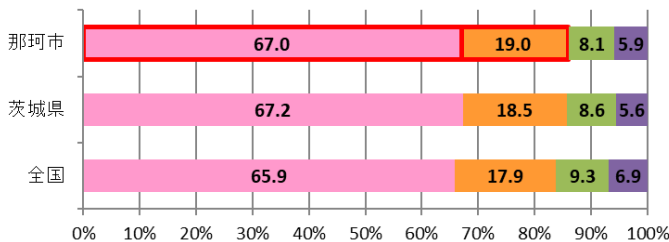
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



◇「将来の夢や目標を持っていますか。」については、全国と比較すると、小学校はやや高い傾向、中学校は高い傾向が見られる。

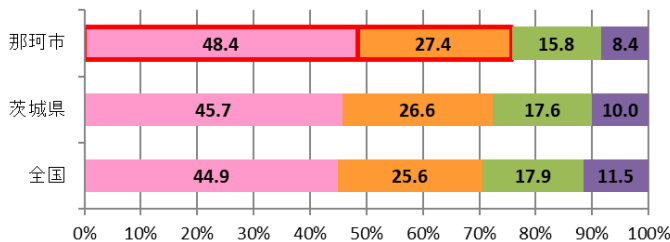
Q: 将来の夢や目標を持っていますか。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



Q: 将来の夢や目標を持っていますか。

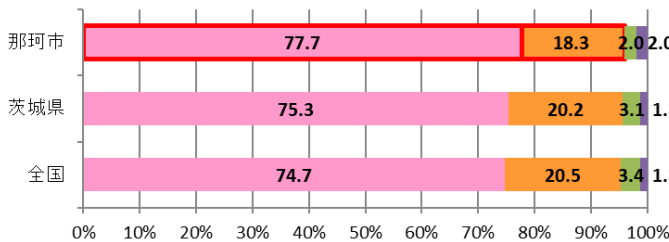
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」については、全国と比較すると、小学校は同程度、中学校はやや高い傾向が見られる。

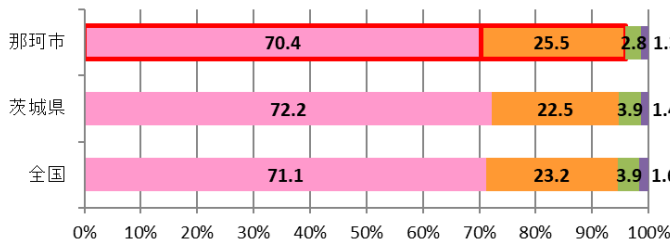
Q: 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



Q: 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年443人、中学3年463人】>

◇主体的に学習へ取り組む態度における全国との比較(参考:茨城県)

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合(%)で比較。

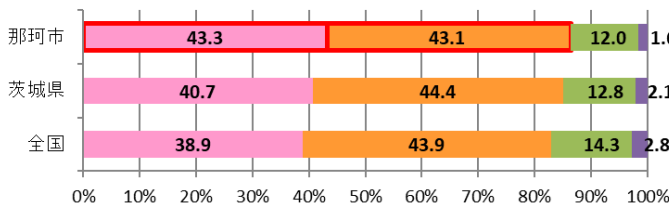
小学校

中学校

◇「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか。」については、全国と比較すると、小学校も中学校も高い傾向が見られる。

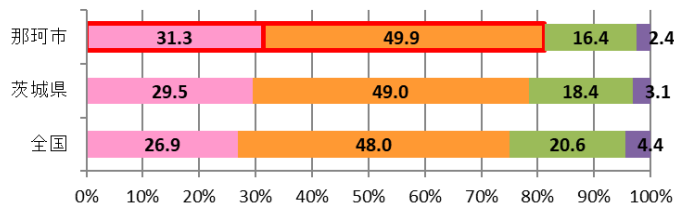
Q: 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



Q: 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか。

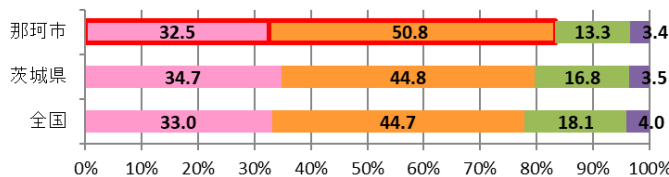
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



◇「5年生までに(※1、2年生のときに〔中学校〕)受けた授業では、問題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」については、全国と比較すると、小学校も中学校も高い傾向が見られる。

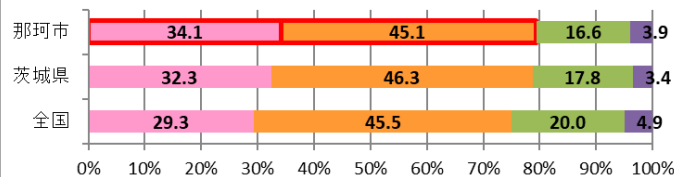
Q: 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



Q: 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

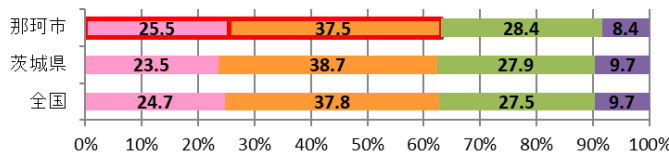
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



◇「5年生までに(※1、2年生のときに〔中学校〕)受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。」については、全国と比較すると、小学校も中学校も同程度の傾向が見られる。

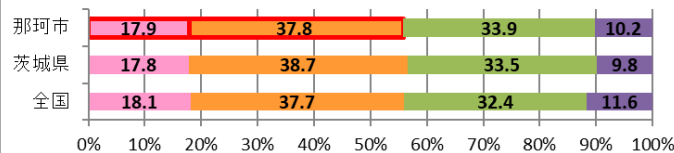
Q: 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



Q: 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



結果から見えてきた課題の改善方策について

○小中学校が「授業」で継続して取り組んでほしいこと

- ・ 全国、茨城県、那珂市の調査結果と自校の調査結果を比較し、自校の課題を明確にし、授業改善を行う。
- ・ 課題設定の方法や学習形態を工夫し、児童生徒が主体的に授業へ取り組めるようにする。
- ・ 授業終末の振り返りの時間を大切にし、児童生徒が「何を学んだか」「何ができるようになったか」を確認できるようにしていく。
- ・ ペアや小集団による話し合い活動を積極的に取り入れ、児童生徒が友達との対話の中で学びを得られるようにするとともに、全員が授業の中で活躍する場をもてるようにする。
- ・ 文部科学省が示している「授業アイデア例」を参考に、課題となっている分野を改善できるような授業を構想する。
- ・ 「学びのデザイン」「学習の手引き」を活用し、小学校、中学校とも同じ視点をもって教育活動にあたる。

今後のさらなる学力向上に向けた改善方策について

○教育委員会から発信していくこと

- ・ 計画訪問や要請訪問等における指導・助言を通し、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりが実現できるよう支援していく。
- ・ 「課題解決アクションプラン」等の研修を通し、児童生徒の読解力や論理的思考力を高める授業づくりが実現できるよう支援していく。
- ・ 指導形態を工夫した授業（チームティーチング、ゲストティーチャー等）や、ICT機器を効果的に活用した授業の実践例を紹介し、市内の学校で共有を図っていく。